



## ディボーション質問表

エズラ記は、帰還から神殿完成まで（1～6章）とエズラの活動（7～10章）に分けられます。

### 23日（月）エズラ記 1章 捕囚からの解放

1. バビロン捕囚により、国を追われたイスラエルの民に再び希望が生まれました。第一次バビロン捕囚からおおよそ70年後、バビロン王国は倒れ、メド・ペルシャが中東一帯を征服していました。
2. 「エレミヤにより告げられた主のことば」（1節）とはどのような事でしょうか（エレミヤ 25：11～12、29：10節参照）？
3. クロス王が命じている内容を書き出してみましょう。主は、この章の中で3種類の人々に対してどのような事をされていますか？

### 24日（火）エズラ記 2章 帰還者の一覧表

1. 奴隷も含め、約5万人の人々がユダの君主シェシュバツアル（ゼルバベル）とともにイスラエルに帰還します。ペルシャから自分達の国に戻る彼らにはどんな期待や不安感があったと思いますか？ 現在、あなたにはどんな期待や希望があるでしょうか？
2. この中には宮の再建と礼拝回復の為に立ちあがった人々が出てきます。特に礼拝で仕える人たちは5482人いました。この人数についてどう思いますか？ また、68節で「進んでささげ物をした」という記述がありますが、あなたは今日「進んで」何をしますか？
3. 彼らはみな「もとの町々に住みついた。」とありますが、それはどうしてだと思えますか？ またあなたにとって「もとの町々」とは何を象徴していると思えますか？

### 25日（水）エズラ記 3章 神殿建築着手

1. 民がイスラエルに集まり、礼拝をします。1～7節を読み、礼拝の要素についていくつか発見してみてください。
2. 年が改まり、彼らは神殿の再建工事に着工します。彼らは喜び（11節）、泣いて（12節）います。それは何故だと思えますか？ そのようにして下さった主に対して「主はいつくしみ深い」と言っていますが、あなたの生涯を振り返り、主がいつくしみ深い方だと思った出来事がありますか？

### 26日（木）エズラ記 4章 再建工事の中止

1. 「ユダとベニヤミンの敵たち」とは誰のことでしょうか？ 彼らはまず「一緒に建てさせてくれ。」というところから近づいてきました。しかしゼルバベル達はその提案を退けます。なぜだと思えますか？
2. 断られた彼らは、再建反対運動を起こしました。何故彼らはそのようにしたのだと思えますか（Ⅱ列王 17：27～41節参照）？ あなたにも同じような経験があるでしょうか？
3. 6～23節は後の時代の内容です。時間的には24節は5節に続く出来事です。

### 27日（金）エズラ記 5章 神殿工事再開

1. ハガイとゼカリヤは、ハガイ書とゼカリヤ書の人物です。彼らの預言者のことばによって、中断された工事は再開します。このことから預言的ミニストリーの力や性格を発見してみましょう。
2. 再開された工事を中止させる為に再びタテナイたちが挑んできます。しかし、彼らはすぐにはやめませんでした。そして今度は中止命令の再確認を要求しました。あなたは少しの問題でひるんでしまうときがありますか？ 主の計画を確認してみましょう。
3. この世の法律も神は用いる事があります。人のおどしや意味不明の慣習に対して、この世の法律によって正統的な主張をしていますか？ それともただ周囲に合わせているだけでしょうか？

### 28日（土）エズラ記 6：1～12節 神殿完成

1. 敵達によるダリヨス王への打診の結果、彼らはイスラエルへの費用負担、物資の提供、そして祝福を与えることが定められてしまいます。このように迫害から祝福を勝ち取るパターンを覚えておき、実践してみましょう。どんな事ができるでしょうか？
2. 預言通りに神殿は完成します。このときの主と民の気持ちを考えてみましょう。あなたはここからどんな励ましを受けるでしょうか？

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**